

2025年度第2回 TNT-Rehabilitation 開催報告

2026年3月15日（日）に金沢市文化ホールにて「第2回TNT-Rehabilitation」が開催されました。学術集会翌日の熱気そのままに、全国から志高い32名の専門職の方にご参加頂きました。

参加職種：理学療法士12名(38%)、栄養士・管理栄養士12名(38%)、看護師3名(9%)、医師2名(6%)、薬剤師2名(6%)、作業療法士1名(3%)

各分野のスペシャリストによる熱い講義

多職種連携の最前線で活躍する鈴木先生(医師)、川瀬先生(管理栄養士)、小瀬先生(薬剤師)、折内先生(理学療法士)豪華4名の講師陣による、それぞれの専門性を活かした最新知見を伝授していただきました。今回のハイライトは、多職種混成チームによるケーススタディです。会場は終始、参加者の前向きなエネルギーと熱い議論に包まれました。

- ・「もっとできることはないか」

会場では職種の枠を超え、全員が前のめりになって話し合う姿が印象的でした。

- ・「多角的な視点の融合」

医師をはじめとした多職種がそれぞれの専門性を尊重しつつ「患者様の心と生活」を中心に据えた最適解を模索していました。



参加者の皆様から多くのご感想をいただきました！
一部を抜粋してご紹介させていただきます。



金沢大学附属病院 リハビリテーション科 中積智先生(医師)

前半はリハ栄養の講義、後半は症例を用いたワークショップでも実践的でした。症例を全人的に捉え、栄養と活動をそれぞれの職種の専門性から検討していくのが面白かったです。根拠をもとに SMART なゴールを考えていく経験を積めて非常に勉強になりました。



訪問看護ステーション立花畑 田中朗先生（理学療法士）

リハ栄養ケアプロセスの基本から実践まで、具体例を通して学ぶことができました。多職種で意見交換する中で、ゴール設定や情報の捉え方の重要性を再認識し、臨床に直結する学びが得られ、1日で大きな成長を実感できる貴重な研修会でした。



九州中央病院 薬剤科 新井梨那先生（薬剤師）

初学者のため不安もありましたが、講義から演習へのシームレスな構成で理解が深まり、自身の課題も明確になりました。多職種の専門性の結集が、患者さんの力になると確信しています。今後はリハ栄養の視点を持つ薬剤師として、チーム医療に貢献したいと意欲を新たにしました。



次回は、第16回学術集会の前後で愛知県内で開催予定です。
積極的なご参加をスタッフ一同、お待ちしております。